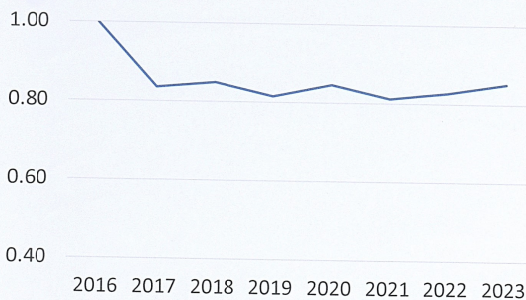


藤井聡太の傾向と対策

目的

将棋界で大活躍している藤井聡太さんは、毎年、勝率が8割を超えています。
そんな藤井聡太さんにも、苦手な戦型や月があるのか気になったからです。

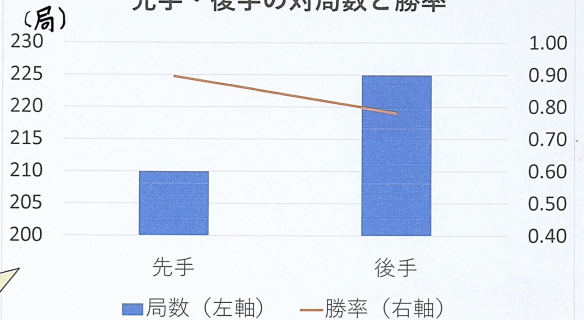
年度別の勝率の推移



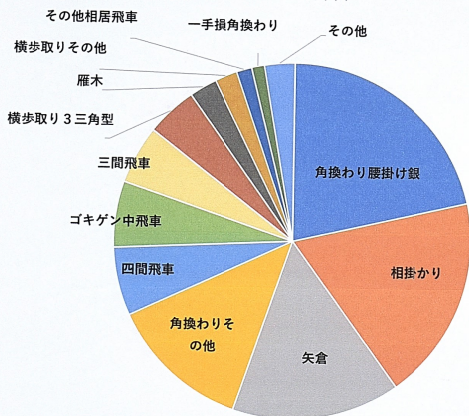
毎年、勝率は8割を超えている。

対局数は、「後手」の方が多いが、勝率は「先手」の方が高い。

先手・後手の対局数と勝率

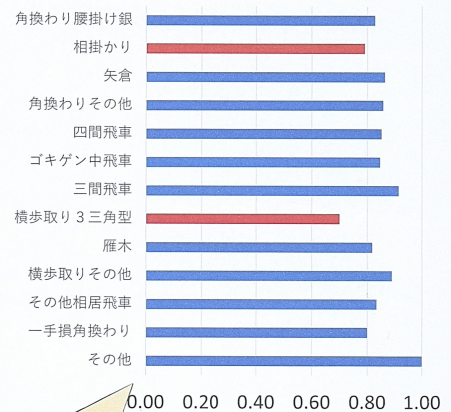


戦型別の対局数



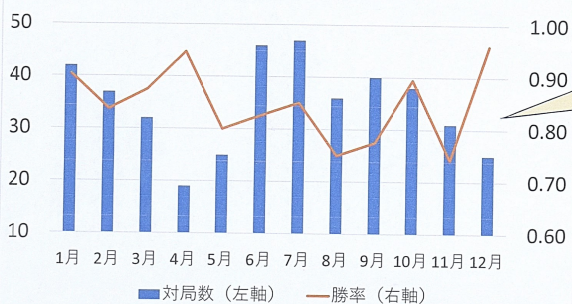
戦型は、「角換わり腰掛け銀」や「相掛かり」、「矢倉」などの相居飛車の戦型が多い。

戦型別の勝率



「相掛かり」と「横歩取り3三角型」が他の戦型よりも勝率が低い。

月別の対局数と勝率



8月、9月、11月が他の月より勝率が低かった。

藤井聡太の勝率が、最も低くなる組み合わせは、
先手：9月、横歩取り3三角型（勝率0.25）
後手：11月、相掛かり（勝率0.33）

出典

<https://shogidb.com/shogiDb/>（将棋評価値速報）

<https://shogidb2.com>（将棋DB2）

まとめ

今の将棋界で、とても強い藤井聡太さんでも、苦手な戦型や月があることがわかった。

もし、対戦する機会があったら、この作戦で対戦してみたい。